

足立工科 高等学校 令和 6 年度（2 学年用） 教科 工業 科目 プログラミング技術

单位数： 2 单位

使用教科書： (実教出版 プログラミング技術)

【知識及び技能】 工業的諸量の相互関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき判断し表現する力を身に付け、工業技術の進展に対応し解決するちからを養う。

科目 プログラミング技術 の目標： 情報の基本的な考え方を身に付けC言語により所望のシステムを構築できる。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元『フローチャート』 【知識及び技能】 フローチャートを描ける 【思考力、判断力、表現力等】 プログラムの内容を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組んでいる	・指導事項 ⇒ フローチャートの問題 ・教材 ⇒ 情報技術検定3級の問題	【知識・技能】 主にテストにより評価 【思考・判断・表現】 提出された課題の内容により評価 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取組態度により評価	○	○	○	15
	中間考査			○	○		1
	B 単元『C言語の構文』 【知識及び技能】 C言語の基本的な構文を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 適切なコーディングを行える 【学びに向かう力、人間性等】 自ら考えて作業しているか	・指導事項 ⇒ if文とfor文のプログラミング ・教材 ⇒ 教科書その他を用いる ⇒ 産振PCを活用しコーディング	【知識・技能】 C言語の基本的な構文を活用できる 【思考・判断・表現】 所望の動作を適切に行わせることが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物の実績により評価	○	○	○	15
	期末考査			○	○		1
2 学期	C 単元『C言語の構文』 【知識及び技能】 C言語の基本的な構文を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 適切なコーディングを行える 【学びに向かう力、人間性等】 自ら考えて作業しているか	・指導事項 ⇒ ネストやwhileなど ・教材 ⇒ 教科書その他を用いる ⇒ 産振PCを活用しコーディング	【知識・技能】 C言語の基本的な構文を活用できる 【思考・判断・表現】 所望の動作を適切に行わせることが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物の実績により評価	○	○	○	20
	中間考査			○	○		1
	D 単元『C言語のデータ構造』 【知識及び技能】 C言語のデータ構造を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 データ構造を他人に説明できる 【学びに向かう力、人間性等】 理解しようと努めているか	・指導事項 ⇒ 配列とポインタ ・教材 ⇒ 教科書その他を用いる ⇒ 産振PCを活用しコーディング	【知識・技能】 配列やポインタを活用できる 【思考・判断・表現】 データ構造を他人に説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物の実績により評価	○	○	○	20
	期末考査			○	○		1
	E 単元『C言語の応用』 【知識及び技能】 ファイルオープンを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 データを統計処理し説明できる 【学びに向かう力、人間性等】 理解しようと努めているか	・指導事項 ⇒ 大量のデータを活用できる ・教材 ⇒ 教科書その他を用いる ⇒ 産振PCを活用しコーディング	【知識・技能】 ファイルオープンを活用できる 【思考・判断・表現】 データを統計処理し説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物の実績により評価	○	○	○	10
	期末考査			○	○		1
							合計
							70